

沼野治郎

*Numano Jiro*

# 現代中国語訳 の 聖書

モリソン訳から  
改訂和合本聖書に至る  
翻訳史



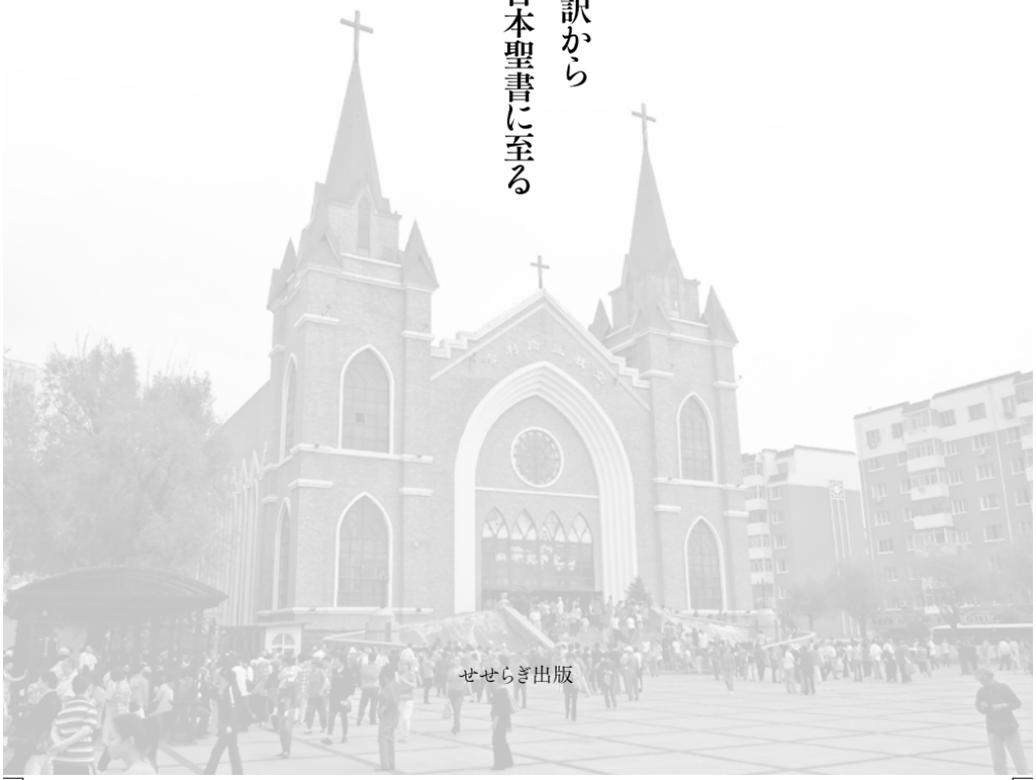
沼野治郎

*Numano Jiro*

# 現代中国語訳 の 聖書

モリソン訳から  
改訂和合本聖書に至る  
翻訳史

せせらぎ出版



## 推薦の言葉

桜美林大学専任講師・チャプレン シュエ エンフワン 薛 恩峰

中国キリスト教の歴史は、波乱に富んだものでした。1949年、社会主義中国が建国されると、キリスト教は帝国主義列強による「精神侵略」「文化侵略」の先峰と見なされて、1950年代以降、教会は外国ミッションとの関係の断絶を余儀なくされ、帝国主義反対と愛国主義との「三自愛国運動」を通して自己変革と改造を迫られました。

その困難に追い討ちをかけたのが、中国全土を席卷した文化大革命の開始でした。この期間中、「宗教は人民のアヘン」と見なされ、迫害の対象となりました。「古い文化を廃止せよ」「造反有理」「革命無罪」といったスローガンの下、紅衛兵は教会施設の破壊、信者迫害、聖書の焚書などを行いました。しかし、激しい迫害と弾圧も、キリスト者の神に対する信仰を奪うことができません。聖書を奪われた信徒たちは、ガリ版で聖書を印刷し、危険を冒して流布しました。

1978年12月の中国共産党11期3中全会後、党と政府は文化大革命の誤りを正し、宗教問題における正反両面からの歴史的経験を総括し、宗教に対する党の基本観点と基本姿勢を表明しました。その後、「改革・開放」政策の実施に伴って、宗教政策は大きく改善され、国民の信教の自由が認められるようになりました。

1979年4月9日、寧波ニンポーにある「百年教会」が礼拝を再開しました。文化大革命終息後、初めて再開された教会となりました。

た。これに続き、上海、広州など各地の教会が続々と復活し始めました。

文革大革命の苦難を味わい、精神的危機に直面した中国人は新たな価値観を求め、多くの人々がキリスト教の教えに耳を傾けました。特に1980年代後半から、海外へ留学した人々の増加や対海外交流の発展の影響もあって、キリスト教ブームが起こり、クリスチャンは破竹の勢いで増加する傾向にあります。教会の再開と信徒の急増が続く中、聖書の需要も増大する一方です。信徒は、自分自身が所有する聖書を手にして礼拝をささげたいという思いを強く持っていました。

1988年8月、愛徳基金会は聖書協会世界連盟（UBS）と共同出資して、優れた設備をそなえた聖書印刷工場「愛徳印刷有限公司」を南京に建設しました。2013年末までに、聖書の累計印刷は1億3千万冊を超え、世界一となりました。そのうち、中国国内のための聖書印刷部数は6000万冊（1980～2012）に達しました。現在刊行されている聖書は、簡体字が使われています。それまでの聖書は、今の若者が読めない繁体字が用いられていたからです。文化大革命を体験した中国人キリスト者が今、聖書を手にして礼拝をともにするその喜びは、並々ならぬものがありました。

今日、中国国内の教会と海外の中国人教会で広く愛用されているのは『和合本聖書』（Union version）ですが、この聖書はどのようにして誕生したのでしょうか。

沼野治郎氏のこの著書は、この問いに対する答えとなるばかりでなく、中国語訳聖書の略史と今後の課題を知るためのよい参考書でもあります。

20世紀最後20年間、中国のキリスト者は聖書の復刊と教会の

再建を最優先課題として取り組んできました。21世紀は、中国キリスト教の発展期と見込まれます。

時代がたつにつれて、今、中国に大きな変化が生じてきています。また、聖書学の進歩や考古学の発見により、よりよい中国語訳聖書が求められているのが現状です。今後、成長と発展を重ねていく中、中国のキリスト者は聖書の改訳事業にどのように取り組んでいくのでしょうか。これは、まさに中国におけるキリスト教の未来を考えるための大事なポイントです。世界のキリスト者の耳目もこれに集まっています。

最後に、付け加えておきたいことがあります。それは、中国語聖書は日本語聖書にどのような影響を与えたか、ということです。海老澤有道はその著書『日本の聖書－聖書和訳の歴史－』（日本基督教団出版局、1981年、p. 98）の中で「日本における聖書に言及するにあたって、見逃すことのできないものは漢訳聖書である。それは和訳にあたって原典主義が採られたとは言え、漢訳が参考にされたばかりか、聖書の各書名において、キリスト教的術語において、それらを継承したものがきわめて多いからである。第四章Ⅱに述べるように、ヘボンが初めて和訳を志したのは漢訳からであり、その後、S・R・ブラウンとの協力も、彼らが中国語の知識を持っていたからであり、それなしには聖書の和訳が困難であった事情なども、それを示す。まったく漢訳聖書がなかったならば、和訳はより困難であったばかりでなく、文学的表現においても低からざるを得なかったであろう」と指摘しています。この指摘は、中国語聖書と日本語聖書との密接な関係を明らかにしました。このような意味から言えば、日本語訳聖書の歴史を理解するには、まず中国語訳聖書の歴史を知る必要があると言えましょう。

時代の推移とともに、日本語訳聖書は常によりよい翻訳を目指して、幾多の改訳を経て今に至っています。聖書の翻訳のみならず、神学書も日本語で数多く出版されています。特に教育界における影響が大きいです。日本のキリスト教界は日本社会においてマイノリティーでありながらも、なぜこれほどの実力を備えているのでしょうか。今後、中国のキリスト者は日本から経験を多く学ぶ番かもしれません。

沼野治郎氏の日中両国キリスト教の相互理解のために注いできた情熱が、今ここに結実されました。その尊い努力に、謝意と敬意を表します。

本書が広く読まれることを祈りつつ……。

《薛恩峰師は、1986年中国西安より来日。同志社大学大学院神学研究科博士後期課程満期退学。共著に『原典現代中国キリスト教資料集』（新教出版社、2008年）がある》

## はじめに

中国では鄧小平が1978年に始めた改革・開放政策以降、キリスト教徒が増加し始めた。特に21世紀に入って急速な伸びを示している。いろいろな数値があげられるが、中国社会科学院（2008～2009年調査）によればプロテスタントが2,305万人、そして米國務省の報告（2010年）では中国天主教（カトリック教会）が530万人とあり、合わせると全中国人口の2.1%に達している<sup>(1)</sup>。それで2009～2010年にかけて聖書の深刻な不足が報じられた。しかし、その後印刷会社がフル操業し今日では充足されるに至っていると伝えられている<sup>(2)</sup>。

中国語の聖書翻訳は歴史が古く、日本語訳聖書に『旧約聖書』『新約聖書』の各書の名前、たとえば、創世記、申命記、士師記、使徒行伝などを始め聖書に登場する多くの固有名詞（耶蘇基督、馬太、路加など）や他の数多くの用語（神、福音、安息日、聖霊、伝道、復活など）において、広範な影響を与えている。それは1819年（江戸時代 文政2年）のモリソンの漢訳聖書に溯るのである<sup>(3)</sup>。ただ、どちらかと言えば本稿では焦点を近・現代に当てて、今日の状況に重点を置いて紹介していくことにする。

今日の比較的歴史の浅い現代中国のキリスト教会では、1919年（大正8年）に出版された『和合本聖書』<sup>わごうほん</sup>が今も最も広く用いられ主流であるという。数々の翻訳が出されている日本や欧米と比べると、そんなに古い版が今もと人は驚きを覚える。現在も『欽定訳聖書』を用いる英語圏のキリスト教会に比較することができようか。

日本で言えば、年代的に見ていまだに『文語訳聖書（1917年、大正訳）』を使っている感じになるように思われる。この『和合本聖書』に改訂が行われていないのだろうか。これが筆者の大きな関心事で、その視点で研究を進めてきた。改訂版はやはり出ていた。繁体字を簡体字に、句読点を現代風にし、縦書きを横書きにした『新句読点<sup>リーチャンシヨウ</sup>和合本聖書』（『新標点和合本』）が1988年に出版されていた。しかし、本文は改訂されていない。それほど『和合本聖書』が普及し愛好されているのであった。それで本格的な『和合本聖書』の改訂は、香港聖書協会が先行する形で行なわれ、2010年に『和合本聖書改訂版』（『和合本修訂版』）が完成するまで待たなければならなかった。

改訂版ではほかに『回復訳聖書』（『聖經恢復本』）というのが出ていた。『新約聖書』は1987年、『旧約聖書』は2003年に完成していた。『和合本聖書』に対して批判的で大幅な改訂を施し、漢訳聖書の翻訳面で一石を投じているが、李常受<sup>リーチャンシヨウ</sup>という個人が行ったもので、彼は「呼喊派<sup>こかんは</sup>」と呼ばれる過激な宗派の指導者となり、彼の言説（注解）が異端視されたため、今日中国国内で印刷されておらず、この改訂版の存在は事実上無視されている。

またそのほかに新しくキリスト教に改宗した中国人向けに、『現代中文訳本』が1979年に出版されている。これは英語の『Good News Bible : Today's English Version』に相当すると考えられる。義務教育終了者でも読めるようにという目標のもとに意識の方法で翻訳されている。

本書はカトリックによる最初の聖書漢訳から今日に至る中国語聖書の歴史を俯瞰できるよう試みるものである。

註

- (1) 「中国基督教網」の記事「中国宗教報告2010」(2010年8月28日閲覧)。天主教は米国国務省 International Religious Freedom Report 2010:China (17. Nov. 2010) による。いずれも中国政府公認の三自教会に属する教会の数字であるので、公認されていない家庭教会あるいは地下教会の人数を加えると数字は遥かに大きくなる。英国ガーデアン紙はカトリックの家庭教会1千万人、プロテスタントの家庭教会7千万人と報じている(22. June. 2012)。この数字をもとに公認非公認合わせると1億835万人になり、2012年末の人口13億5,404万人に対して8%に達する。
- (2) 1988年、南京に設立された愛徳印刷会社は、2010年11月累計で聖書を8千万冊以上印刷したと発表。同印刷会社は中国語聖書だけでなく外国語の聖書も印刷して輸出するに至っている(「人民網日本語版」2010年11月11日)。なお、この印刷会社建設に際して日本聖書協会は他国の聖書協会とともに資金援助を行っている(JBSは1億円。「管区事務所便り」(日本聖公会、2004年10月25日、第189号))。
- (3) 都田恒太郎『ロバート・モリソンとその周辺－中国語聖書翻訳史－』(教文館、1974年、pp. 163-173)。

# 目 次

推薦の言葉	薛 <sup>シュエ</sup> 恩 <sup>エン</sup> 峰 <sup>ファン</sup> iii
はじめに	vii
第一章 中国語訳聖書の前史	2
1 初期の中国語訳聖書	2
(1) 〈1636年〉『聖經直解』	2
(2) 〈1707年〉『バセ訳新約聖書稿本』（『ローマ稿本』）	3
(3) 〈1707年〉『バセ訳新約聖書稿本』（『ケンブリッジ稿本』）	4
(4) 〈1707年〉『バセ訳新約聖書稿本』（『大英図書館稿本』）	4
(5) 〈1823年〉モリソン『神天聖書』	4
2 訳文間の比較	6
3 その後のモリソン訳の改訂	8
モリソン訳『神天聖書』『第一回改訂』（通称『四人組訳』）	8
モリソン訳『神天聖書』『第二回改訂』（『代表委員訳』）	8
『ブリッジマン・カルバートソン訳』 （中国名『 <sup>ヒンヂウフェン</sup> 神治文訳本』、通称『BC訳』）	9
4 モリソン訳の行われた背景と意義	10
5 使用語彙についての観察	12
第二章 『和合本聖書』の出版とその後	18
1 1919年『和合本聖書』出版に至る流れ	18
2 19世紀後半の歴史的背景	19
3 『和合本聖書』の翻訳出版	20
4 『新句読点和合本聖書』の出版	24
5 2010年『改訂和合本聖書』（『Revised Chinese Union Version』、略称『RCUV』）完成	24
改訂の試み	25
改訂の特徴	26

出版	26
改訂例	28
(1) 中国語の変遷を反映	28
(2) 間違いの訂正	29
(3) 原語を考慮した改訂	30
(4) ヘブライ語「ヒンネー」の扱い	31
反響と期待	32
<b>第三章 その他の聖書翻訳</b>	37
1 『呂振中訳本』	37
2 『思高本聖書』（中国語『思高本聖經』）	38
3 『当代訳本』	39
4 『現代中文訳本』	39
5 『聖書新譯本』（中国語では『聖經新譯本』）	41
6 『回復訳聖書』（中国語では『聖經恢復本』）	42
7 『牧靈聖經』	45
<b>第四章 近年顕著な中国語聖書翻訳における     英米の二つの流れ</b>	48
<b>資料編</b>	52
資料1 中国語訳聖書関係年譜	52
資料2 漢訳されたキリスト教用語	53
資料3 中国のキリスト教史一覽	55
資料4 家庭教会	59
資料5 中国でキリスト教が発展している理由	62
資料6 中国カトリック教会（天主教）とバチカンの関係	64
中国地図	65
<b>あとがき</b>	66
参考文献	68
索引	71

## 第一章 中国語訳聖書の前史

最も古くは唐代7世紀前半に伝わった景教（ネストリウス派）が聖書を一部中国語に訳していることが伝わっているが<sup>(1)</sup>、公開された記録と資料が乏しく、また景教は9世紀に衰滅し後世にほとんど影響を残さなかったと思われるので、ここでは立ち入らない。

中国語訳聖書と言えば、19世紀にロバート・モリソンが訳した『神天聖書』が最もよく知られ、嚆矢と目される。それが20世紀初頭の『和合本聖書』につながっていく。そこでこの章ではモリソンの『神天聖書』とそれに至る先行訳を見ていくことにする<sup>(2)</sup>。

### 1 初期の中国語訳聖書

#### (1) 〈1636年〉『聖經直解』

明代1555年に中国マカオで伝道を開始していたカトリックのイエズス会は、国号が「清」となった1636年に『聖經直解』を北京で出版した。これはポルトガル人イエズス会士エマヌエル・ディアス（Emmanuel Diaz Junior、ヤンマースオ中国名「陽瑪諾」）が四福音書を抄訳したカトリックの中国語訳聖書である。トリエント公会議（1545～1563年）で公認されたラテン語『ブルガタ訳聖

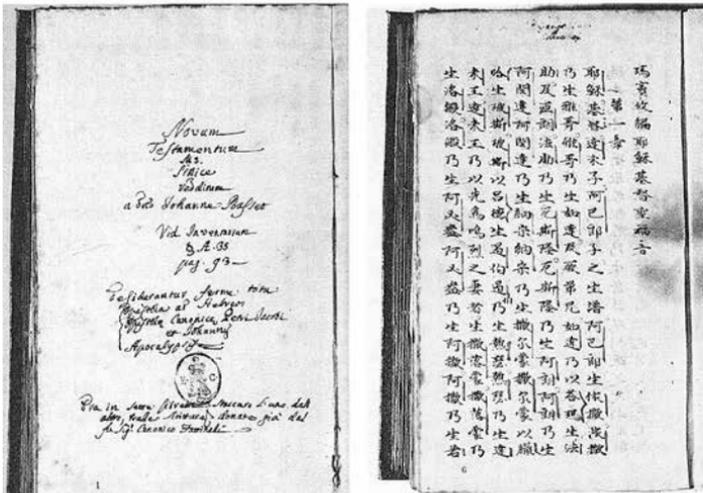


『聖經直解』

書』を底本としている。文体は中国語古文体で格調高く、一般信徒には難解であった。この本文を次の(2)以降のバセ訳と比較した愛知大学の塩山正純によれば、バセは翻訳に際しこの漢訳を参照した可能性が高く、文体、語彙が類似したものとなっている<sup>(3)</sup>。

(2) 〈1707年〉『バセ訳新約聖書稿本』（『ローマ稿本』）

ジャン・バセ (Jean Basset、中国名：白日昇または巴設、1662～1707年、パリ外国宣教会に属し、広東、福建、浙江、江西、四川で活躍した) が中国語に翻訳した。ヨハネの黙示録とパウロ以外の書簡を除いて、『新約聖書』のほとんど(ヘブル人への手紙1章まで)が訳されている。比較的最近、2000年代に入って、北京外国語大学の<sup>ジャン・バセ</sup>張西平教授によってその存在が明らかにされた。



『ローマ稿本』、マタイによる福音書1章。左側6行目に Johanne Basset の名が見える。

## 第二章 『和合本聖書』の出版とその後

### 1 1919年『和合本聖書』出版に至る流れ

前章でモリソン訳『神天聖書』が改訂されたところまで見てきたが、二度目の改訂、『代表委員訳』の時、天地を統べる神格 God を「神」とするか「上帝」とするかで意見が分かれ、委員間に確執が生じるに至った。それで委員会からバプテスト派の宣教師、次いで会衆派の宣教師が退出するに至り、結局「上帝」を採用した代表委員訳が出版されたものの、その後それぞれの主張に基づく翻訳が出版されることになった。

前述のように、上記委員であったブリッジマンとカルバートソン (M.S.Culbertson) が、God を神とする訳 (『新旧約全書』) をアメリカ聖書協会の元に1864年に出版した。『ブリッジマン訳聖書』(中国名『裨治文訳本』、通称『BC訳』) と呼ばれる。

そして、バプテスト派がタイのバンコックからゴダード (Josiah Goddard) を呼び寄せ、マーシュマン訳に改訂を加えて『ゴダード訳聖書』(中国語名『高德訳本』) を1868年に香港で出版した。特徴はバプテストの訳に「洗礼」ではなく「蘸礼<sup>さんれい</sup>」(水中に沈める儀式の意) を用いたことである。ゴダードは健康上の問題で『旧約聖書』の一部だけ訳し、残りは他の宣教師が継いで完成している。

ここで聖書翻訳に関して、どのような文体に訳出されたかという点についてまとめておく必要がある。5ページでモリソン訳は「文理訳」(中国語の文語に相当) に分類されると書いたが、「文理」という言葉は本来中国語で「文章の理路、条理」、要す

るに「文をなり立たせる文法」を意味し、文体を指す言葉として存在しなかった。19世紀後半に宣教師が聖書を中国古典の文体に倣って訳すに際し、聖書の文体を指すものとして独自の言葉を作りだしたものである<sup>(1)</sup>。ここで志賀正年の分類をもとに中国語訳聖書の歴史を文体によってまとめてみると次のようになる<sup>(2)</sup>。

### 中国語訳聖書の歴史（文体面から見た変遷）

(1) **漢文訳期** 『聖經直解』『バセの翻訳』

(2) **文理訳期** 『四史攸編』『神天聖書』『聖經』（文体・語彙から文理と呼ぶことに疑問が呈せられているが時期的にはここに入る）。「文理」は中国語の文語（文言）を指す。

(3) **浅文理訳期** 1844年、<sup>こうほ</sup>黃埔条約以降本格的な聖書の全訳が始まる。『BC訳』が、「浅文理」であった。「浅文理」とは、文語と口語の中間の文体を指す。そして浅文理より文語に近い文体を、「深文理」と呼ぶ（『代表委員訳』は「深文理」）。

(4) **国語訳期** 国語訳は、「官話\*（標準語の意）訳」とも呼ばれていた。『和合本聖書』が典型。

（\*官話は、元來役人の言葉の意。役人が使っていた北京語を基本にした口語が書き言葉として用いられるようになったものを指す）

## 2 19世紀後半の歴史的背景

ひるがえってここで改めてアヘン戦争以降の中国（清）の状況を振り返っておきたい。前ページで少しふれたが、実際はア

## 第三章 その他の聖書翻訳

前章で今日に至るのであるが、『和合本聖書』が1919年に出版されて後、その改訂版が2010年に出るまでの間に中国社会に出た主な聖書翻訳を取り上げておきたい。ただ、前述したように『和合本聖書』の評価が高く、広く浸透していたので、二十世紀後半、そして二十一世紀初めに出た他の翻訳が広く受け入れられることはなかった。それでここではよく言及される七つの翻訳に絞って年代順に簡単に紹介することにした。

### 1 『リュージェンジェン呂振中訳本』

1946年、呂振中は北京にある燕京大学宗教学院から『新約聖書』を出版、1952年に『新約聖書』の改訂版、1970年に『旧新約聖書』を出版している。呂は1898年、福建省でキリスト教徒の家庭に生まれ、香港大学卒後北京の燕京大学で神学を学び、1946年、『新約聖書』出版後アメリカのニューヨークユニオン神学校に学び神学修士を得、英国のケンブリッジ大学、ウェストミンスター神学院に進みギリシャ語、ヘブライ語を修めている。そして1948年ロンドンで英国長老教会の牧師に聖任されている。1949年、英国聖公会の賛助を受け香港で聖書の翻訳を続け、1970年に『旧新約聖書』の翻訳を完成するに至ったわけである。呂振中の翻訳は直訳の方法で、原文の字句の意味を反映させ構文さえもできるだけ保持しようとしたと伝えられる。それで聖書に含まれた意味を深く研究するには大いに援けになる。直訳の持つ正確・忠実という点で一定の評価を得た個人訳

とすることができる。呂振中は1988年、シンガポールで死去。

## 2 『思高本聖書』（中国語『思高本聖經』）

これは1968年香港で出版されたカトリック教会の聖書。イタリアのフランシスコ会<sup>(1)</sup>神父ガブリエレ・アレグラ（中国名雷<sup>レイ</sup>ヨンミン 永明）が1945年北京に創立した「思高聖經学会」によって翻訳され注釈をつけた聖書である。「思高」という名前は中世ヨーロッパの神学者・哲学者 John Duns Scotus から取ったものである。アレグラは自分の訳に満足せず、中国人神父5人に参加してもらって上記の組織を設立したと伝えられる。ただ、共産党軍が北京に入城した1948年に思高聖經学会は香港に移って翻訳を継続し、注釈部分を除き改訂を加えて1968年に完成するに至っている。

『旧約聖書』はR.Kittelの『Biblia Hebraica 第三版』、『新約聖書』はMerkの『Novum Testamentum 七版』を底本とし、『旧約聖書』では『七十人訳』『ヴルガタ訳』などを、『新約聖書』では『バセ訳』『モリソン訳』『和合本聖書』などを参考にしてている。翻訳の原則として特徴的なのは、『旧約聖書』の

セム語の風格を残そうとしたこと、訳文は分かりやすい口語体で一般大衆にも理解できるものを目指したこと、翻訳の後半は香港で行われたので広東語が少し入っていること、確実な信頼できる翻訳を第一とした、従って直訳的であることなどをあげ



天主教の『思高聖經CD版』

## 〈著者紹介〉

沼野 治郎 (ぬまのじろう)

1941年(昭和16年)、中国上海に生まれる。1964年大阪外国語大学(現大阪大学)中国語科卒業。1974年から1976年までプリガムヤング大学(アメリカユタ州プロボ)に留学、言語学修士取得。MA論文はユージン・ナイダ、W.ワウンダーリの聖書翻訳を含む翻訳の理論と実践について。1980～1998年、徳山大学、1999～2008年、広島国際学院大学英語担当教授(一時中国語、言語学を担当)。その間、メリーランド大学岩国センター(日本語)、山口大学、広島大学(ともに英語)で非常勤講師を務める。2009～2011年中国黒竜江外国語学院(元ハルビン師範大学恒星学院)で日本語を教えた。  
ブログNJWindow(J) [http://blog.goo.ne.jp/numano\\_2004](http://blog.goo.ne.jp/numano_2004)を管理運営。

### [著作]

『私が接した言葉とその文脈 - 音声学から語義、思想まで-』徳山大学叢書17号、1999年

『モルモン教をどう見るか - 第三の視点をさぐる-』せせらぎ出版、2013年

### [翻訳]

王美秀「キリスト教の中国化とその問題」広島国際学院大学「現代社会学」6号、2005年

●装丁 上野かおる

**現代中国語訳の聖書** モリソン訳から改訂和合本聖書に至る翻訳史

---

2014年7月10日 第1刷発行

著者 沼野 治郎

発行者 山崎 亮一

発行所 せせらぎ出版

〒530-0043 大阪市北区天満2-1-19 高島ビル2階

TEL. 06-6357-6916 FAX. 06-6357-9279

<http://www.seseragi-s.com> [info@seseragi-s.com](mailto:info@seseragi-s.com)

印刷・製本 関西共同印刷所

---

©2014 Numano Jiro ISBN978-4-88416-230-6

## もっと読む

- **電子本** (PDF版、税込756円) を購入する
- **紙の本** (税込1080円) を購入する